

【中学校】

◆数学に関する調査結果の分析

平均正答率 53%

よく取り組んでいた内容

○問題場面における考察の対象を的確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができること

【知識・技能】

○複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較すること

【知識・技能】

課題が見られた内容

●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること【思考・判断・表現】

●図形の性質を考察する場面において筋道を立てて考え、証明すること【知識・技能】

学習改善のポイント

事象の中にある関数関係を見だし、数学的に表現・処理して問題を解決し、得られた結果の意味を考察することが大切です。

☆事象を捉え考察し表現する際には、何を明らかにしようとするかという目的意識をもち、目的に応じて表、式、グラフを適切に選択し的確に表現する活動に取り組みましょう。

図形の性質を考察する場面では、予想した事柄が成り立つことを論理的に考察し表現することや、問題解決の過程や結果を振り返って新たな性質を見いだすことが大切です。

☆証明に用いた根拠、結論を整理する活動や、証明を読むことを通じて証明の根拠の使い方を明らかにしつつ自分なりに工夫して証明する活動に取り組みましょう。